



(題字 小黒千足 学長)

第362号
(平成7年2月号)



▲ 最後の試験科目を終了し肩の荷をおろして帰路につく受験生
(平成7年2月25日出)

目 次

関係法令	3	職員消息	
学内規則	3	◆ 住所変更	16
諸会議	4	◆ 新任者住所	16
学 事		◆ 訃 報	17
◆ 平成7年度富山大学入学者選抜学力検査 (前期日程)が実施される	5	主要行事	18
◆ 学位取得者	8	資 料	
◆ 平成7年度富山大学国際交流事業基金に よる各種事業の採択	8	◆ 他大学の自己点検評価報告書	20
◆ 平成7年度文部省在外研究員派遣者の決 定	9		
◆ 平成7年度文部省内地研究員派遣者の決 定	9		
人事異動	10		
学内諸報			
◆ 新学部長の選出・再選	10		
◆ 退官記念最終講義	12		
◆ 『エイズとその予防』講演会を開催	13		
◆ 生涯学習推進のための講演会開催	14		
◆ 「就職に関するガイダンス」を開催	14		
◆ 海外渡航者	15		
◆ 外国人来訪者	15		

関 係 法 令

(省 令)

- 幼稚園設置基準の一部を改正する省令（文部1）
（平7. 2. 8 官報第1579号）

(規 則)

- 人事院規則9-2（俸給表の適用範囲）の一部を改正する人事院規則（人事院9-2-21）
（平7. 2. 1 官報第1574号）
- 人事院規則9-8（初任給、昇給、昇給等の基準）の一部を改正する人事院規則（同9-8-24）
（平7. 2. 1 官報第1574号）
- 人事院規則9-57（教職調整額の支給方法等）の一部を改正する人事院規則（同9-57-11）
（平7. 2. 1 官報第1574号）

(告 示)

- 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨幣換算率を定める等の件の一部を改正する件（大蔵10. 11）
（平7. 1. 18官報第1564号）
- 平成7年度において使用される小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教科書の定価を認可した件（文12）
（平7. 2. 10官報号外第24号）
- 出納官吏事務規程第16条に規定する外国貨幣換算率を定める等の件の一部を改正する件（大蔵34）
（平7. 2. 24官報第1591号）

学 内 規 則

富山大学教育学部附属学校規則の一部改正

富山大学教育学部附属学校規則の改正理由

学校教育法施行規則の一部改正による文部事務次官通達（平成6年11月24日付け文初小第368号）に基づき、附属小学校、中学校、養護学校及び幼稚園において、平成7年4月1日から休業日として新たに毎月の第4土曜日を加え、月2回の学校週5日制が実施されることとなるため、所要事項を改める。

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部附属学校規則（昭和41年1月17日制定）の一部を次のように改正する。第6条第3号を次のように改める。

- (3) 毎月の第2土曜日及び第4土曜日

附 則

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

諸 会 議

第8回学生生活協議会（2月1日）

（審議事項）

- (1) DMに関する学生5団体からの要求書について
- (2) その他

第9回入学試験委員会（2月10日）

（審議事項）

- 阪神大震災で被災した受験生を対象とする特例入試の実施について

第6回入学試験実施委員会（2月6日）

（審議事項）

- (1) 入学試験実施委員会専門委員会委員について
- (2) 平成7年度富山大学入学者選抜試験の検査場について

第7回留学生指導相談室運営委員会（2月15日）

（議 事）

- (1) 富山大学留学生指導相談室長の選考について
- (2) その他

第8回入学試験委員会（2月7日）

（審議事項）

- (1) 平成7年度富山大学学生募集要項（募集人員）の変更について
- (2) 平成7年度富山大学入学者選抜試験の確定検査場について

第6回附属図書館商議会（2月16日）

（審議事項）

- (1) 附属図書館増築について
- (2) 平成8年度概算要求について
- (3) 平成6年度追加予算の配分について
- (4) 事務部制の設置に伴う図書館諸規則等の一部改正について

第9回学生生活協議会（2月7日）

（審議事項）

- (1) DMに関する学生5団体からの要求書について
- (2) その他

第10回部局長懇談会（2月17日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第1回学長候補者選挙管理委員会（2月7日）

（議 題）

- (1) 委員長選出について
- (2) 次期学長候補者選考日程（案）について
- (3) 次期学長候補者選挙の公示（案）について
- (4) その他

第6回大学院委員会（2月17日）

（審議事項）

- (1) 富山大学大学院学則の一部改正について（継続）
- (2) 富山大学研究生規則の制定について（継続）
- (3) 富山大学科目等履修生及び聴講生規則の制定について（継続）
- (4) 富山大学外国人留学生規則の制定について（継続）
- (5) 富山大学学生交流規則の制定について（継続）
- (6) その他

第5回放射性同位元素実験室運営委員会（2月9日）

（議 題）

- (1) 放射線防護設備について
- (2) その他

第10回評議会（2月17日）

（審議事項）

- (1) 次期学長候補者選挙日程（案）等について
- (2) 富山大学年史の編纂について
- (3) 富山大学教育学部附属学校規則の一部改正について
- (4) その他

第3回放射性同位元素総合実験室自己点検評価委員会（2月9日）

（議 題）

- 放射性同位元素総合実験室自己点検評価調書について

第3回学長候補者選挙管理委員会（2月17日）

（議 題）

- (1) 第1回委員会記録及び持ち回り審議結果の確認について
- (2) 次期学長候補者選挙の期日等の公示について
- (3) 次期学長候補者選挙推薦資格者名簿及び選挙資格者名簿（予備選挙）の作成・縦覧について
- (4) その他

第3回学寮委員会（2月21日）

（審議事項）

- (1) 寮生との話し合い（いわゆる団交）について
… 調理士長の定年に伴う後任補充問題 …
- (2) その他

第1回水素同位体機能研究センター自己点検評価委員会（2月23日）

（議 題）

- (1) 水素同位体機能研究センターの報告書の作成及び公表について
- (2) その他

第3回水素同位体機能研究センター運営委員会

（2月23日）

（議 題）

- (1) 教官人事について
- (2) 平成7年度非常勤講師（客員教授）の任用計画について
- (3) その他

第7回事務協議会（2月24日）

（議 題）

当面の諸課題について

第10回学生生活協議会（2月28日）

（審議事項）

- (1) 第40回大学祭について
- (2) トレーニングルーム（仮称）の新設要望について
- (3) その他



平成7年度

富山大学入学者選抜学力検査（前期日程）が実施される

平成7年度入学者選抜試験の前期日程の学力検査等が、去る2月25日（土）に実施されました。

試験当日は幸い晴れの天気となり、交通機関の乱れもなく、試験開始2時間前にはすでに受験生の姿が見え始め、受付の午前9時には、各学部入口の前は受験生でいっぱいでした。

前期日程の受験予定者は4,172人で、そのうち受験したのは、3,944人（欠席者228人）で受験率は94.5%でした。また、私費外国人留学生も37人が受験しました。



▲ 緊張の面持ちで試験開始の合図を待つ受験生（教育学部検査室）

平成7年度 入学志願者数調【確定】

平成7年2月10日現在
富山大学

学部	学科・課程	平成7年度						平成6年度						備考	
		前期日程			後期日程			前期日程			後期日程				
		募集人員 (人)	志願者数 (人)	倍率 (倍)											
人文学部	人文学科	49	193	3.9	15	173	11.5	64	366	5.7	4.2	—	7.9	5.0	
	国際文化学科	26	111	4.3	10	61	6.1	36	172	4.8	3.5	—	5.2	3.9	
	言語文化学科	57	299	5.2	20	239	12.0	77	538	7.0	3.4	—	7.7	4.6	
	学部計	132	603	4.6	45	473	10.5	177	1,076	6.1	3.7	—	7.3	4.6	
教育学部	小学校教員養成課程	70	196	2.8	30	274	9.1	100	470	4.7	1.4	—	9.6	3.9	
	中学校教員養成課程	24	73	3.0	12	301	25.1	36	374	10.4	—	4.1	—	4.1	
	養護学校教員養成課程	14	39	2.8	6	54	9.0	20	93	4.7	2.7	—	13.8	6.1	
	幼稚園教員養成課程	21	88	4.2	9	105	11.7	30	193	6.4	3.9	—	14.7	7.1	
経済学部	情報教育課程	12	30	2.5	6	52	8.7	18	82	4.6	2.6	—	9.8	5.0	
	課程環境情報コース	8	18	2.3	4	37	9.3	12	55	4.6	1.8	—	16.5	6.7	
	学部計	149	444	3.0	67	823	12.3	216	1,267	5.9	2.1	4.1	11.4	4.8	
	コ屋 1間 経営学 主	112	385	3.4	31	278	9.0	143	663	4.6	2.8	—	9.1	4.2	
理学部	経済学科	86	432	5.0	24	293	12.2	110	725	6.6	3.5	—	8.7	4.7	
	経営学	72	504	7.0	20	260	13.0	92	764	8.3	6.0	—	12.7	7.5	
	経営法学科	270	1,321	4.9	75	831	11.1	345	2,152	6.2	3.9	—	9.9	5.2	
	学部計	2	10	5.0	4	33	8.3	6	43	7.2	3.5	—	6.3	5.3	
工学部	夜間 経営学 主	2	13	6.5	5	63	12.6	7	76	10.9	7.5	—	9.2	8.7	
	経営学	2	22	11.0	5	44	8.8	7	66	9.4	4.5	—	6.8	6.1	
	経営法学科	6	45	7.5	14	140	10.0	20	185	9.3	5.2	—	7.5	6.8	
	学部計	276	1,366	4.9	89	971	10.9	365	2,337	6.4	3.9	—	9.6	5.3	
工学部	数学	29	163	5.6	7	42	6.0	36	205	5.7	3.9	—	5.1	4.2	
	物理学	33	123	3.7	9	29	3.2	42	152	3.6	3.3	—	6.9	4.0	
	化学	30	95	3.2	8	50	6.3	38	145	3.8	3.7	—	5.0	3.9	
	生物科学	32	149	4.7	6	30	5.0	38	179	4.7	4.1	—	7.7	4.7	
工学部	地球科学	25	97	3.9	5	23	4.6	30	120	4.0	4.0	—	9.6	4.9	
	生物圏環境学	20	82	4.1	5	57	11.4	25	139	5.6	2.8	—	6.6	3.5	
	学部計	169	709	4.2	40	231	5.8	209	940	4.5	3.6	—	6.7	4.2	
	電子情報工	86	288	3.3	27	122	4.5	113	410	3.6	3.1	—	6.7	4.0	
工学部	機械システム工	65	203	3.1	21	123	5.9	86	326	3.8	4.8	—	5.7	5.0	
	物質工	52	311	6.0	16	89	5.6	68	400	5.9	6.2	—	16.0	8.5	
	化学生物工	51	293	5.7	16	104	6.5	67	397	5.9	5.3	—	9.7	6.4	
	学部計	254	1,095	4.3	80	438	5.5	334	1,533	4.6	4.6	—	9.0	5.7	
合計	980	4,217	4.3	321	2,936	9.1	1,301	7,153	5.5	3.8	4.1	9.0	5.0		

(注) 募集人員には、「推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜」の募集人員(若干名を除く。)を含まない。

平成7年度富山大学入学者選抜私費外国人留学生入学志願者数

H7. 2. 10現在

区 分		志 願 者 数 (人)		備 考	
		平成7年度	平成6年度(参考)		
人 文 学 部	人 文 学 部	5	9		
	国 際 文 化 学 科	1	4		
	言 語 文 化 学 科	5	2		
	計	11	15		
教 育 学 部	小学校教員養成課程	1	1		
	中学校教員養成課程	0	1		
	養護学校教員養成課程	0	0		
	幼稚園教員養成課程	0	0		
	情報教育 課 程	教育情報コース	2	3	
	環境情報コース	0	0		
計	3	5			
経 済 学 部	昼 間 主 コ ー ス	経 済 学 科	8	13	
		経 営 学 科	12	27	
		経 営 法 学 科	0	0	
		計	20	40	
理 学 部	数 学 科	1	0		
	物 理 学 科	0	0		
	化 学 科	0	0		
	生 物 学 科	0	0		
	地 球 科 学 科	0	0		
	生 物 圏 環 境 科 学 科	1	0		
	計	2	0		
工 学 部	電 子 情 報 工 学 科	13	7		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	11	8		
	物 質 工 学 科	1	2		
	化 学 生 物 工 学 科	0	2		
	計	25	19		
合 計		61	79		

志願者総数61人の国籍別内訳

中国 25人, マレーシア 25人, 韓国 6人, 台湾 2人, ベトナム 2人, 香港 1人

学 位 取 得 者



学位取得者 経済学部 教授 小松 和生

学位の種類 経済学博士(大阪大学)

取得年月日 平成7年2月23日

学位論文名 「幕藩制解体期の経済構造」

論文の要旨

農民層の分解と前期的資本の衰退、藩体制の崩壊という三つの視点を通して、幕藩制権力基盤の変貌を追及し、絶対主義形成の基礎過程を実証的に究明した研究

平成7年度富山大学国際交流事業基金による各種事業の採択

第1種海外派遣事業(A)(遼寧大学)

部局	氏名	職名	派遣期間	研究課題
人文学部	谷井 俊仁	助教授	7. 8. 13~7. 10. 13(62日間)	明清時代君主独裁制の研究

第1種海外派遣事業(B)

部局	氏名	職名	派遣期間	訪問先	研究課題
学生部	大平 嘉彦	学生課長	平成7年6月下旬から 7月上旬まで (9日間程度)	マレーシア タイ インドネシア	日本国際教育協会主催 日本留学説明会(留学フェア) への参加
人文学部	藤井 一行	教授	7. 9. 6~7. 9. 20(15日間)	イルクーツク国立 経済アカデミー (ロシア連邦)	富山大学とイルクーツク国立 経済アカデミーとの学術交流 の促進
工学部	坂井 純一	教授	7. 8. 15~7. 8. 22(8日間)	ゴダード スペース フライト センター(NASA) (アメリカ合衆国)	太陽フレア時の高エネルギー 粒子加速機構

平成7年度文部省在外研究員派遣者の決定

種 類	所 属	職 名	氏 名	主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名	調 査 研 究 題 目	派遣期間
長期(甲)	教育学部	教授	山西潤一	スタンフォード (アメリカ合衆国) スタンフォード大学	CSCWと教育用マルチメディア インターフェースに関する研究	8. 3.10 } 8.10.10
	理学部	助教授	阿部幸隆	パドバ (イタリア) パドバ大学	多変数周期関数と準アーベル多様 体の研究	7.10. 1 } 8. 7.31
短 期	人文学部	教授	神徳昭甫	フィレンツェ (イタリア) フィレンツェ大学	「ナサニエル・ホーソーンヨー ロッパにおける足跡及びダンテ文 学との比較」に関する研究	7. 7.24 } 7. 9.23
	理学部	教授	岡部俊夫	アントワープ (ベルギー) アントワープ大学	結晶・準結晶・アモルファスの電 子回析による結晶学的研究	7. 8.20 } 7.10.19
	教育学部	教授	山地啓司	ダニーデン (ニュージーランド) オタゴ大学	酸素運搬系からみた全身持久性の 運動生理学的解明	7.10. 1 } 7.11.30
若手教官	工学部	助手	小野 慎	アトランタ (アメリカ合衆国) ジョージア工科大学	酸素の触媒反応機構に基づく阻害 剤の分子設計	7. 5.29 } 8. 3.28

平成7年度文部省内地研究員派遣者の決定

所 属	職名	氏 名	受 入 機 関	研 究 題 目	研究期間
人文学部	教授	富田正弘	東京大学史料編さん所	中世文書群の整理保管システムから見る日本 中世政治社会構造	7. 9. 1 } 8. 2.29
教育学部	教授	大石 昂	白百合女子大学文学部	親子関係の研究－タイプA行動パターンの形 成をめぐって	7. 5. 1 } 7.10.31
工学部	助手	砂田 聡	東北大学工学部	ステンレス鋼の腐食に関する研究	7. 5. 1 } 8. 2.29

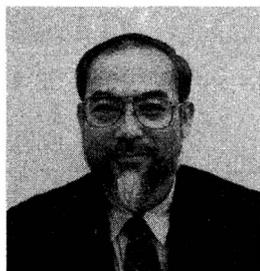
人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	7. 2. 16	永 井 昭 光	文部事務官（教育学部）	富山工業高等専門学校会計課用度係用度主任
	7. 3. 1	深 井 甚 三	助教授（教育学部）	教 授（教育学部）
転 任	7. 2. 16	山 中 勝 也	文部事務官（名古屋工業大学庶務部庶務課）	文部事務官（経済学部）
	7. 3. 1	垣 見 篤	“ （経済学部）	“ （名古屋工業大学庶務部庶務課）
配 置 換	7. 2. 16	串 田 純 恵	文部事務官（庶務部庶務課）	文部事務官（教育学部）
退 職	7. 2. 19	林 敏 和	事務補佐員（附属図書館）	平成7年2月18日限り退職した
	“	青 山 拓 也	“ （ “ ）	“
	“	松 田 充 子	“ （ “ ）	“
	“	大久保 英	“ （ “ ）	“
	“	松 岡 弘 二	“ （ “ ）	“
	“	大 岩 満美子	“ （ “ ）	“
	7. 3. 1	宮 本 淳	技術補佐員（経理部主計課）	平成7年2月28日限り退職した
	“	室 谷 智	“ （ “ ）	“
	“	水 巻 純 一	“ （ “ ）	“
死 亡	7. 2. 20	柳 川 洋 一	助教授（経済学部）	死 亡（公務外）
		以下余白		

学 内 諸 報

新 学 部 長 の 選 出 ・ 再 選

教育学部長に田中晋教授を選出



加瀬正二郎教育学部長の任期が平成7年3月30日に満了することに伴い、教育学部教授会は2月15日（水）に次期教育学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、田中晋教授が選出されました。任期は、平成7年3月31日から2年間。田中教授は、昭和37年3月東京教育大学理学部を卒業、

同39年3月京都大学大学院理学研究科修士課程を修了、同42年3月京都大学大学院理学研究科博士課程を単位取得退学後、同年4月富山大学教育学部講師に採用となり、同45年4月同助教授を経て、同57年7月同教授に昇任され、現在に至っています。

なお、この間、平成元年6月から富山大学評議員を併任されています。

専門は、生物学。理学博士（京都大学）。東京都出身。

(就任の抱負)

教育学部では歴代の学部長をはじめ教官や事務官のご努力で、平成6年度には2専攻6専修の教育学研究科修士課程の設置を行うことができ、順次全専修の設置を準備中であります。しかし一方では、児童生徒数の減少にともない、卒業生が教員になりにくい状況となっております。このため教員養成を目的としない情報教育課程の設置を行うなどで対処してきましたが、この児童生徒数の減少は今後も続く見通しで、学部にとってはかなり困難

な時代を迎えようとしています。私は、このような時期に学部長を引き受けるのは本当に責任の重いことだと感じているところです。

次の世代を育てる教員を養成する使命の重要なことは、将来にわたって変わるわけではありません。今後は教員養成課程に基本を置きつつ学部組織のあり方を最大の努力で模索してゆかねばならないと考えています。学部の教官、事務官はもとより学内あげてのご支援をお願いする所存です。

理学部長に風巻紀彦教授を選出



松本賢一理学部長の任期が、平成7年3月31日に満了することに伴い、理学部教授会は、去る2月8日(水)に次期学部長候補者の選挙を行い、風巻紀彦教授を選出しました。任期は、平成7年4月1日から2年間。

風巻教授は、北海道出身で昭和40年3月北海道教育大学数学科を卒業、同42年3月東北大学大学院理学研究科修士課程を修了後、東北大学理学部助手採用となり、同48年4月同教養部助教授、同53年4月富山大学理学部教授となり、現在に至っています。

なお、この間、平成2年4月から平成4年3月まで保健管理センター所長を併任され、さらに平成3年4月1日から評議員を併任されています。

専門は確率論。理学博士(東北大学)。

(就任の抱負)

子供の頃から数学者を夢見ていましたが、父が商売に

失敗したために夜間高校に行かざるを得なくなるなど、平坦な道ではありませんでした。ですから、大学院に合格して数学者への道が開けたと知ったときは、目の前がパッと輝くのを感じたものです。それ以来、生涯黙々と数学の勉強に徹することが出来れば、それが一番と思ってきましたので、評議員にしろ学部長にしろ私にとっては本当に迷惑な話なんです。しかし、愚痴を言っても仕方ありませんし、お引き受けした以上嫌々ながら務めるということはしないつもりです。当面、本学にとって最も重要な課題は、教育改革の主旨を実現することにあると思いますが、理学部としてもこれに積極的に対処していかねばならないと考えています。現在、最初の4年一貫教育の前半部分をようやく終えたところで、これからが改革の正念場です。その他、自己点検評価の問題、科学技術社会に対応し得る大学院博士課程の問題、研究環境の質的向上、生涯学習社会への対応等々重要な問題がありますが、明日の理学部のために可能な限り努力するつもりでいます。前任の松本賢一先生同様、よろしくお願い申し上げます。

工学部長に時澤貢教授を再選



工学部長の任期が、平成7年4月1日に満了することに伴い、工学部教授会は、平成7年2月15日（水）に次期工学部長候補者の選挙を行いました。

その結果、時澤貢現工学部長が再選されました。任期は

平成7年4月2日から2年間。

時澤教授は、昭和33年3月大阪大学大学院工学研究科修士課程を修了、同年4月不二越鋼材株式会社入社、同40年2月同社退社、同年3月富山大学工学部助手、同41年4月同講師、同44年4月同助教授、同52年10月同教授となり、この間、平成元年6月から富山大学評議員、平成5年4月から工学部長を併任され、現在に至っています。

専門は塑性加工学、工学博士（大阪大学）。

（就任の抱負）

昨年4月から大学院工学研究科博士課程が順調にスタートし、前期及び後期の両課程に社会人を含めて定員の2倍強の入学生を迎え、今後も、研究開発能力を有する高度技術者の養成により、地域企業の研究環境づくりと産業の振興に寄与したい。

また、人文社会、理系並びに高専短大等の卒業生を対象とする3年次編入学の推進により学際的、専門的な技術者の養成を図るとともに、職業高校卒業生の推薦入学も更に進める。教育方法の改善では、カリキュラムと修得単位の見直し、シラバス作りの一方で、学科や大学院等の改組により特色ある教育が実施できるよう関係者の協力で取り組みたい。

退官記念最終講義

御退官される下記先生の最終講義を多数の学生及び教職員等が終始熱心に聴講しました。

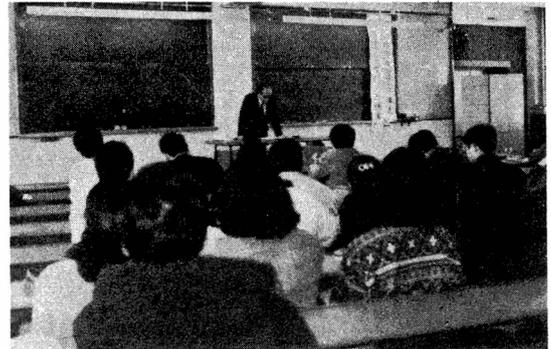
- 経済学部 武 暢 夫 教授
2月2日（木）15：00～16：30
経済学部301教室
「イギリス近代社会成立史研究」



- 理学部 後 藤 克 己 教授
2月7日（火）15：00～16：30
理学部10番講義室
「水と私」



○教育学部 観山雪陽 教授
2月7日(火) 15:00~16:00
教育学部第5講義室
「カントと親鸞」



学生部主催

『エイズとその予防』講演会を開催

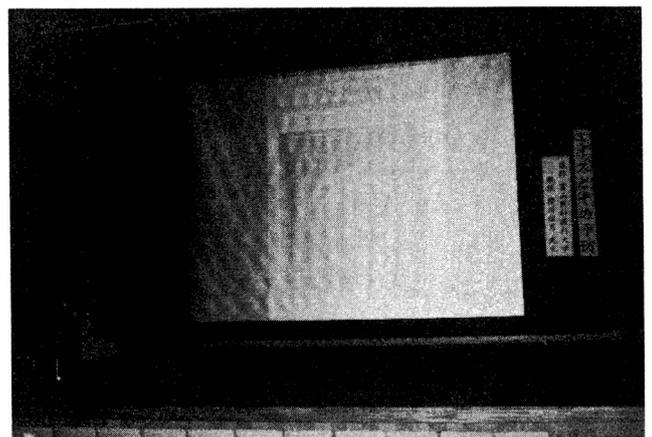
=== 予防にまさる治療なし ===

平成7年2月1日(水) 1時30分から黒田講堂において、全学生・教職員を対象にエイズについての講演会を開催しました。

講演会は、保健管理センター所長の開会の挨拶と講師紹介があり、講師の富山医科薬科大学櫻川信男教授(富山県エイズ対策委員、富山血友病友の会顧問)から、60数枚のスライドを使っての講演が行われました。

『人間は今、有史以来体験したことのない“エイズ禍”の試練にさらされている。予防のためには「今」しか時間はない。人間の「生」と「性」という難しい問題の本質を、正しく理解しエイズに対抗することが、問題解決の唯一の方法である。』

現在、治療法もワクチンもない感染症であり、生涯死に対する不安を抱き続けなければならない病気であり、敵を知り、予測される感染爆発を未然に防ぐのが、若い世代への課題である。』と熱心に講演され、学年末の多忙な最中にもかかわらず約100人が参加し、エイズと共に生きなければならない時代をむかえることを実感しました。



▲ 「エイズとその予防」と題して講演される
富山医科薬科大学櫻川教授(黒田講堂)

生涯学習教育研究センター準備委員会主催

生涯学習推進のための講演会開催

文部省生涯学習局生涯学習企画官来学

平成7年2月13日(月)富山大学黒田講堂会議室において、富山大学生涯学習教育研究センター準備委員会が主催し、生涯学習推進のための講演会を開催し、文部省生涯学習局生涯学習企画官岡本 薫氏から「生涯学習と大学の役割」、茨城大学生涯学習教育研究センター長藤平誠二氏から「生涯学習推進に対応する大学の現状と問題点等」及び富山県文化行政推進顧問吉崎二郎氏から「学習社会を迎えて」と題して講演が行われました。

この講演会は、地域社会において大学等の高等教育機関が果たす役割が益々重要となる中で、生涯学習の推進についての参考とするべき啓示を得るとともに、本学教職員の意識の更なる向上を図ることを目的として開催されたもので、本学教職員及び県内高等教育機関の生涯学習事業担当の教職員等約130人が参加し、生涯学習推進のために大学が果たすべき役割についての理解を深め、講演会は盛会のうちに終わりました。



▲「生涯学習と大学の役割」と題して講演される
文部省生涯学習局 岡本生涯学習企画官
(平成7年2月13日(月)黒田講堂会議室)

経済学部

「就職に関するガイダンス」を開催

経済学部では、去る2月20日(月)午後1時から経済学部201番教室において、3年次生を対象に下記により「就職に関するガイダンス」を開催しました。

今春経済学部を卒業する学生の就職率は、近年になく厳しく「土砂降り」、「氷河期」などと云われ深刻な就職難で、特に、女子学生の就職活動が厳しい状況にあった。

本学部では、来春の就職状況は一層の厳しさが予想されることから、それに対応するため、昨年より早く開催したものであり、前年度を大幅に上回る約270名の学生の出席がありました。

当日は、増田学部長の挨拶に続いて、経済学部就職指導委員のガイダンス及び今年度から新たに4年生の内定者のうち各学科から1名ずつ「私の就職活動」と題して体験報告があり、参加学生からは、活発な質疑やメモを取るなど熱のこもったガイダンスとなりました。

記

- | | |
|----------------|-------------------|
| (1) あいさつ | 増田 信彦(経済学部長) |
| (2) 就職の心構え | 居林 次雄(学部就職指導副委員長) |
| (3) 私の就職活動について | |
| 経済学科 4年 | 真鍋 覚(男) |
| 経営学科 4年 | CHU SOH SAN(女) |
| 経営法学科 4年 | 手崎 裕之(男) |



▲「就職に関するガイダンス」経済学部201番教室

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (4) 公務員試験直前対策について | 小原 久治(経済学部教授) |
| (5) 就職対策の実際 | 田中 祥子(経済学部教授) |
| (6) 企業に就職を希望する人へ | 伊藤 格夫(経済学部教授) |
| (7) 金融機関に就職を希望する人へ | 林部 實(経済学部教授) |
| (8) 就職手続きについて | 野尻津喜夫(経済学部学生係長) |

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	理学部	教授	櫻井醇児	フランス	近藤型の希土類元素化合物の低温挙動に関する研究打合せ	7. 2. 4) 7. 2.12
海外研修	理学部	〃	細野 忍	アメリカ合衆国	研究集会「ミラー対称性の最近の発展」に出席, 他	7. 2. 8) 7. 2.17
	経済学部	助教授	浅井尚子	ニュージーランド	事故補償制度および1992年新法について調査, 他	7. 2.12) 7. 3. 1
	人文学部	外国人教師	キャレン・フェダーホルト	連 合 王 国	応用言語学と英語教育について研修	7. 2.13) 7. 3.17
	教育学部	助教授	吉田雅巳	タ イ	資料収集及び研究打合せ	7. 2.20) 7. 3. 5
	人文学部	助教授	一ノ瀬 恵	中華人民共和国	モンゴル語現地調査, 他	7. 2.28) 7. 3.14

外 国 人 来 訪 者

氏 名 (国 籍)	本国における 所属機関・職名	来 学 目 的	本学受入れ先	期 間
ニコ・デハルト (オランダ)	オランダ農林水産省 農業経済研究所 園芸課長	講演・視察	経済学部・助教授 新里泰孝	7. 2. 1
トーマス・ヒルデ (アメリカ合衆国)	テキサスA & M大学 地球ダイナミクス 研究所長	表敬・共同研究 講演	教育学部助教授 木川栄一	7. 2. 6) 7. 2. 7
プラディット・タマタート (タイ)	サコンナコン教育大学 講 師	表敬・視察 研究打合せ	教育学部助教授 吉田雅巳 向後千春	7. 2.14) 7. 2.15

職 員 消 息

〈住所変更〉

部 局 名	官 職	氏 名
理 学 部	講 師	岩 坪 見 兼

〈新任者住所〉

部 局 名	官 職	氏 名
経 済 学 部	文部事務官	山 中 勝 也
理 学 部	教 授	内 山 実
理 学 部	講 師	若 杉 達 也

計 報

富山大学経済学部助教授 柳川洋一氏 急逝



本学経済学部助教授柳川洋一氏が、平成7年2月20日不慮の事故により逝去されました。享年39歳。

同氏は、昭和56年3月京都大学文学部哲学科を卒業後、同大学大学院文学研究科修士課程に進学、同58年3月に同大学院を修了、同年4月同大学院博士後期課程に進学、同61年3月同大学院博士後期課程を単位取得後、同年4月に富山大学経済学部助手に就任、同年10月に講師、同63年11月に助教授に昇任されました。

同氏の研究は、社会学の理論研究と実態調査研究との両面にわたっており、真摯な研究態度は大いなる期待を抱かせるものでした。理論研究の面では、人口移動論、社会的交換理論、フリーライター論、あるいは組織の衰退—回復過程の分析研究などがあげられる、また、実態調査研究の面では、鳥取県青谷町における人口移動の動態分析医療関連職の専門職化の動向、医療資源の配分の公正を求めて医療現場における実態を分析した研究が特筆され、また富山県のハイ・テク産業立地の実態調査研究にも取り組まれ優れた実績を重ねてられました。

さらに同氏は、平成3年12月から平成5年11月までの2年間、文部省在外研究員及び客員研究員として、アメリカ合衆国ブラウン大学社会科学科において研鑽を積まれる中で、高齢化社会の到来に伴い、人口構成・家族・生活・経済・労働・福祉・医療・文化などの社

会変化とその諸問題に対する予測と豊かな高齢化社会を実現するための政策の提言や実践に関わる老年社会学（ジェントロジー）という新たな分野の研究に取り組み、帰国後も北欧諸国及び中国の高齢者福祉事情の現地共同調査を精力的に行い、世界の将来に向けて今後重要な課題となってくる研究分野において、新たな意欲を燃やして活躍されるものと大きな期待が掛けられていたところでした。

同氏はまた、学生に対しては、一人一人の資質・個性を良く理解され、暖かく適切な指導を行い、その知性と人格の成長に多く寄与されてきました。以上のとおり、同氏は、国際的視野を持ち、日本のジェントロジー研究のリーダー的存在になるべき傑出した学者として大きな期待が掛けられていただけに、日本の社会科学界にとって大きな損失となるものであり、同氏の急逝は悔やんでも悔やみきれないものがあります。ここに同氏の御功績を偲び顕彰するとともに、御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

主 要 行 事

本 部

- 2月1日 構内交通対策委員会
エイズ講演会
- 1～28日 平成7・8年度建設工事の一般競争（指名競争）参加資格審査受付
- 2日 東海・北陸地区国立学校等施設整備打合せ（名古屋工事事務所）
- 3日 平成6年度国立大学学生部長会議（東海大学校友会館）
- 6日 後学期授業終了
学内会計監査（人文・理学部）
- 7日 学内会計監査（教育学部）
平成7年度施設整備実施計画案ヒアリング（名古屋工事事務所）
- 8日 学内会計監査（事務局外）
第7回国際交流委員会留学生部会
第2回留学生会館運営委員会合同委員会
- 9日 第7回教養教育委員会実施専門委員会
学内会計監査（経済学部，図書館）
人文学部推薦入学合格発表
第4回廃液処理施設運営委員会
- 10日 第4回国際交流委員会
学内会計監査（工学部，地共研）
- 13日 生涯学習に係る講演会
- 14日 第11回部課長会議
第10回教養教育委員会企画専門委員会
- 15日 推薦入学等特別選抜入学手続き
- 16日 第5回公開講座委員会
- 21日 第5回教養教育委員会
第3回教養教育教官負担検討小委員会
- 23日 事務電算化委員会
教務委員会及び学生生活協議会合同委員会
- 24日 リカレント教育推進事業学習コース開設に伴う説明会
教務委員会及び学生生活協議会合同委員会
- 25日 平成7年度入学者選抜学力検査（前期日程）
- 27～28日 臨時東海・北陸地区国立大学事務局長会議（岡崎国立共同研究機構）

- 28日 北陸地区国立学校事務電算化専門委員会（金沢大学）

人 文 学 部

- 2月1日 就職に関する説明会
- 3日 大学院人文科学研究科（修士課程）
入学者選抜検査
学部入学者選抜方法検討委員会
- 6日 平成6年度学内会計監査
- 8日 教授会
教授会（人事）
人文学部長候補者選挙管理委員会
- 13日 後学期授業終了
- 15日 教授会
教授会（人事）
大学院人文科学研究科委員会
- 22日 学部将来計画委員会
- 25日 平成7年度入学者選抜学力検査（前期日程）

教 育 学 部

- 1日 教育懇話会
- 2日 附属小学校第1次選考（発育検査）
- 5日 附属中学校第1次選考（学力検査）
- 6日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 7日 学内会計監査
附属小学校第2次選考（抽選）
- 8日 学部予算委員会
- 9日 学部就職指導委員会
附属中学校第2次選考（抽選）
- 10日 学部入学者選抜方法検討委員会
- 14日 学部学生生活委員会
学部将来計画委員会小委員会
- 15日 教育学研究科委員会小委員会
学部教務委員会
学部長候補者選挙
教授会
教育学研究科委員会
- 16日 学部教育実習検討委員会

- 17日 附属養護学校教育実践研究会
 19～21日 平成6年度教育学部学生合宿研修（冬季）
 （熊の湯スキー場）
 22日 人事教授会
 25日 平成7年度入学者選抜学力検査（前期日程）

経済学部

- 2月6日 後期授業終了
 7日 学部教務委員会
 学部入学方法検討委員会
 大学院経済学研究科委員会小委員会
 8日 人事教授会
 大学院経済研究科委員会
 教授会
 9日 平成6年度学内会計監査
 学部留学生委員会小委員会（持ち回り）
 16日 大学院経済学研究科委員会小委員会
 20日 学部教務委員会
 学部将来構想検討委員会
 22日 人事教授会
 教授会
 大学院経済学研究科委員会
 25日 平成7年度入学者選抜学力検査（前期日程）

理学部

- 2月2～3日 大学院理学研究科（修士課程）
 入学者選抜検査（第2次）
 3日 学部入試改善委員会
 6日 後学期授業終了
 8日 教授会
 理学部長候補者選挙
 大学院理学研究科委員会
 人事教授会
 学科長会議
 10日 学部教務委員会
 15日 大学院設置構想推進委員会
 16日 学部情報化対策検討委員会
 学部自己点検評価委員会
 22日 学部廃水安全委員会
 25日 平成7年度入学者選抜学力検査（前期日程）

工学部

- 2月6日 学部学生生活委員会
 学科長会議
 7～8日 博士課程（前期・後期）第2次試験
 9日 学部運営委員会
 10日 学部入学試験検討委員会
 教授会
 15日 教授会
 教官懇談会
 研究科委員会
 専任教授会
 博士後期課程委員会
 22日 教官懇談会
 23日 学部施設整備委員会
 25日 平成7年度入学者選抜学力検査（前期日程）

附属図書館

- 2月2日 第3回附属図書館増築に関する検討委員会
 16日 第2回「書香」編集委員会

水素同位体機能研究センター

- 2月23日 平成6年度第3回水素同位体機能研究センター
 運営委員会
 平成6年度第1回水素同位体機能研究センター
 自己点検評価委員会

地域共同研究センター

- 2月9日 企業見学と産学交流会（田中精密工業㈱）
 16日 材料部会第6回研究発表会
 21日 第3回技術セミナー

資

料

他大学の自己点検評価報告書

平成7年2月28日現在、新たに本学に送付された他大学の自己点検評価報告書は、下記のとおりです。(掲載済みのものは除く。)

ご利用の際は、各配置先にご連絡下さい。

大 学 名	報 告 書 名	発 行 年 月	学内配置先	
			図書館	企画室
大 分 大 学	大分大学の現状と課題 -明日の大学像を求めて-	平成6年7月	1	-
東 京 農 工 大 学	「東京農工大学の教育について」アンケート調査結果の概要	平成6年6月	1	-
兵 庫 教 育 大 学	兵庫教育大学の現状と課題	平成6年6月	1	-
大 阪 教 育 大 学	大阪教育大学の充実・発展をめざして	平成6年5月	1	-
聖 学 院 大 学	聖学院大学教員活動報告書1994年度	1994年9月	1	-
愛 知 教 育 大 学	愛知教育大学の現状と課題	1994年10月	1	-
熊 本 大 学	熊本大学現状と課題	平成6年10月	1	-
日 本 大 学	日本大学の現状と課題 -平成5年度全学自己点検・評価報告書	平成6年10月	1	-
朝 日 大 学	朝日大学自己点検・評価実施報告書 -現状と課題-	1994年11月	1	-
恵 泉 女 学 園 大 学	現状と課題 -自己点検・自己評価に向けて-	1994年10月	1	-
三 重 大 学	三重大学 その現状と課題2	1994年12月	1	-
上 武 大 学	上武大学における教育・研究の自己点検と改革の指標	1994年10月	1	-
山 形 大 学	魅力ある大学をめざして -教育・研究活動と支援体制-	1994年12月	1	-
新 潟 大 学	教育研究の充実と発展に向けて	平成7年1月	1	-
名 古 屋 大 学	明日を拓く名古屋大学? -教育改革と大学院重点化-	平成7年1月	1	-
福 岡 教 育 大 学	福岡教育大学の現状と課題	平成6年12月	1	-
国立吉備少年自然の家	国立吉備少年自然の家の現状と課題	平成7年2月	1	-

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印 刷 所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話(24)1755(代)